

2013年

子育て支援センター わくわく館 電話 2-3048

節分の会 2月1日(金曜日)

今年最初のイベントは、「節分の会」でした。40組94名の参加者が集まり、 歌をうたったりゲームをしたりして、春の到来をみんなでお祝いしました。 パネルシアターを見ながら「豆まき」を歌った後に、手遊びの「鬼のパンツ」 をしました。難しい振り付けでしたが覚えて出来る子もいましたね。 節分クイズで豆知識をお勉強した後は「色々どんなオニ?」というゲームで体を 動かしました。そしていよいよ「オニ退治」です!赤・青・黄・緑の4体の ダンボールで出来た鬼にボールプールのボールをぶつけて退治します。早く鬼を





倒したグループは、なかなか倒せないところに手伝いに行き、みんなで力を合わせて一生懸命退治し ていましたね。オニ退治のあとは館長扮する福の神が、牛の背中にたくさんのお菓子を乗せて現れま した。「福は~うち~!」とお菓子を撒いてくれましたね。たくさん拾う事が出来たでしょうか?拾っ たお菓子は、1月から作っていた自分の手提げ袋に入れました。

今回の節分にあたり、ビーンズママの皆さん、子育てボランティアの皆さんにたくさんのお手伝いを してもらいました。お忙しい中本当にありがとうございました。

子育て講座「おもちゃであそぼう」2月7日(木曜日)

2月の子育て講座は、札幌第一こどものとも社の、藤田春義さんに来ていただき ました。13名のお母さんが集まり、今回は実際におもちゃで遊んでもらいました。 藤田さんより「お母さんが楽しんで遊んでいる姿を見て子どもは遊びたくなるも のなので、手加減をするのではなくハンデをつけて本気で遊んで欲しい」というお話 があり、手加減無しの真剣勝負に挑みました。本気で遊んでいるお母さんはとても 楽しそうでしたよ。その後、年齢や月齢にあったおもちゃの紹介がありました。 『子どもが今できることと、これから出来るようになることは何なのか。 おもちゃもそれに合わせて選んだり、与え方の順序を工夫して欲しい』





『一番大切なのは、お母さんが見守ってあげること。遊びの中で成長し、出来るようになったこと を一緒に喜んであげて欲しい』という、子どもと遊ぶときの大切なことを教えて頂きました。お母 さん達は、真剣なまなざしで聞いていましたね。

新年度から変わります!

- 4月からわくわく館の使い方で変更がありますので、確認をして下さい。
- 年齢別カリキュラムの『小さいありさん』『きりんさん』が専有になります。
- 午前・午後の開放時間終了15分前に音楽を鳴らしますので、おかたづけの合図にお使いください。

~ 3月の子育で講座 ~

3月14日(木曜日) 開場 9:30~ (順次調理をお願いします。) 「おにぎりパーティ」 講師は町の栄養士 藤川 七洋さん (先着15組) 定員になり次第締め切らせていただきます。